

科目責任者 川北 晃司(倫理学研究室)

■ 教育目的

倫理と哲学に関わる思想を学ぶとともに、現代における環境倫理、青年の発達課題、幸福、個性、使命、生きがい、正義など、広範囲の応用哲学・倫理的なテーマを考察する。【卒業認定・学位授与の方針:YD-①、YD-④、YD-⑤、SD-④、SD-⑤】

■ 学習到達目標

1. 倫理・哲学的な思想(家)・理論・課題について列挙できる(知識)
2. 倫理・哲学的な思考態度・習慣について理解、評価できる(知識、態度)
3. 自分のライフサイクルのあり方について見つめ直す(態度)

■ 準備学習(予習・復習)

予習：日頃から倫理・哲学関連の話題に注目し、可能ならば新聞紙を読む。(20分以上)

復習：配布物を読み返し、要点をチェックするとともに、気になる箇所があれば自分で調べてみる。(30分以上)

■ 授業形態

講義

■ 授業内容

| No. | 項目 | 授業内容 | SBOコード |
|-----|------------------------|---|------------------------|
| 1 | 導入：人類の宿命的課題 | S. フロイトのいう「人類の宿命的課題」とは | B(1)-①-1 |
| 2 | 現代(日本)人の日常的課題 | 精神科医・小此木啓吾、臨床心理学者・河合隼雄による所見に学ぶ | A(1)-①-7 B(1)-①-1 |
| 3 | 哲学とは 大人とは | I. カントのいう「哲学における3種類の問い」 河合隼雄著「大人になることのむずかしさ」 | A(1)-①-7 B(1)-①-1 |
| 4 | 青年期の発達課題 | 「心理的防衛機制」とは何か | B(1)-①-1 |
| 5 | 自立・若さ・青春 | S. ウルマンの Youth 論 | B(1)-①-1 |
| 6 | 生きがい論 | 精神科医・神谷美恵子著「人間をみつめて」 | B(1)-①-1 |
| 7 | 幸福、個性、使命 社会を変えるものとは | 与謝野晶子、D. ハマーショルド、澤瀉久敬 ある公害 G メンの使命感 | A(1)-①-6~7 B(1)-①-1 |
| 8 | 人類と自然のあるべき関係とは | 現代における環境倫理の草分け、R. カーソンの問題意識 | B(1)-①-1 |
| 9 | 真の文明、世代間倫理とは | 明治期日本の環境運動、環境倫理の三本柱 | B(1)-①-1 |
| 10 | 環境倫理の新展開 | 「ディープ・エコロジー」(A. ネス)の主張と自然界における「多様性」をめぐる問題 | B(1)-①-1 |
| 11 | 正義とは何か(1) | アリストテレス、J.S. ミル他 | B(1)-①-1 |
| 12 | 正義とは何か(2) | J. ロールズ、R. ノージック、M. サンドル他 | B(1)-①-1 |
| 13 | フェアネスとは何か | O. ボルノウ、M. ミード他 | B(1)-①-1 |
| 14 | 人間の偉大さと悲惨さ、道徳の 根源とは | B. パスカル「パンセ」 | A(1)-①-5 B(1)-①-1 |
| 15 | 補遺 | 全体のまとめと補足 | |

■ 授業分担者

川北 晃司(No.1~15)

■ 課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法

課題のフィードバック：質問があれば個別に受け付け、解説・説明する。

成績評価方法：期末試験(70%)および受講状況・授業中のレポート(30%)

■ 教科書

指定なし。

■ 参考書

授業中に紹介予定。